

100年前、朝鮮半島で発掘や寺院の修理に関わった 文化財調査官の資料を一堂で紹介

100년 전 한반도에서 발굴과 사원 수리에 관여했던 문화재조사관의 자료를 한 자리에 소개합니다



小川敬吉が使用した道具
(カメラ・鞆は個人蔵、野帳は本館蔵)

小川敬吉資料展

— 朝鮮総督府の文化財調査官が遺したもの —
오가와 게이키치 자료전 - 조선총독부의 문화재조사관이 남긴 것 -

観覧無料

2016年 1月29日[金] - 3月21日[月・休]

■開館時間:午前9時~午後5時 ■休館日:毎週月曜日(※3月21日は開館)

■主催:佐賀県立名護屋城博物館

佐賀県立名護屋城博物館
Saga Prefectural Nagoya Castle Museum

小川敬吉資料展

— 朝鮮総督府の文化財調査官が遺したもの —
오가와 게이키치 자료전 - 조선총독부의 문화재조사관이 남긴 것-



小川敬吉(1882-1950年、福岡県築上町出身)は、朝鮮総督府の文化財調査に携わった人物で、そのときの図面や写真、野帳などが現在でも残されています。

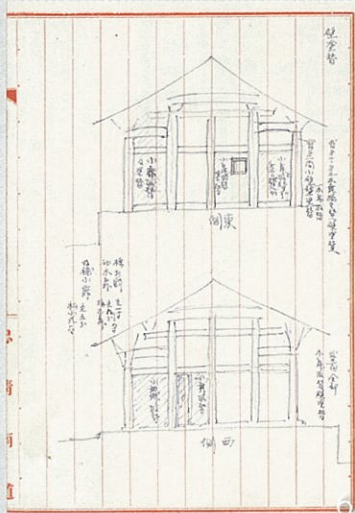
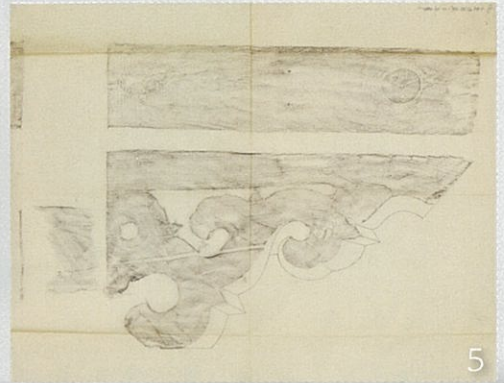
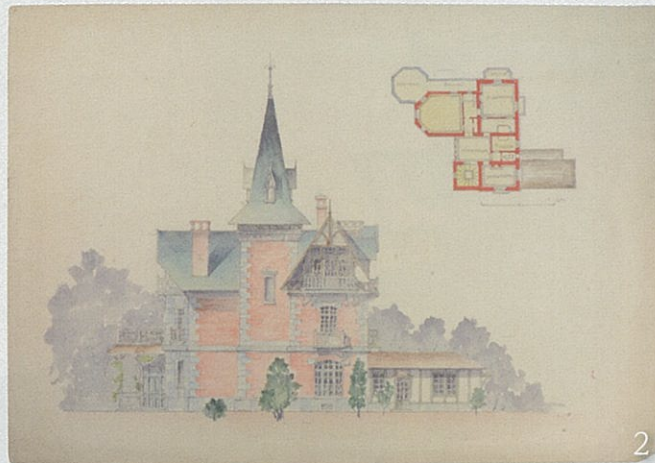
朝鮮半島における文化財調査については、20世紀初頭から日本人研究者によって本格的に始められ、終戦に至るまで40年間にわたって継続されました。工手学校(現・工学院大学)で建築を学んだ小川敬吉は、総督府博物館の技手(技官)として、平壤や慶州などにおける古墳の発掘調査や各地の石造物・古建築の調査を行ったほか、修徳寺大雄殿(大韓民国忠清南道)などの寺院建築の修理に重要な足跡を残しています。

当時の文化財保護行政は日本人によって主導されましたが、近年、日韓両国の研究機関によって、植民地時代の文化財調査に関する資料の公開・研究が進められており、小川敬吉の資料も歴史資料として高い評価を得ています。

本展覧会では、小川敬吉の資料を通して当時の朝鮮半島における文化財保護の活動を御紹介します。本展覧会が日韓両国の貴重な文化財への理解を促進するとともに、今後の学術・文化交流発展の一助となれば幸いです。

- 1.小川敬吉肖像写真(部分・個人蔵)
- 2.建築デザインスケッチ(本館蔵)
- 3.第とソウルの南大門前にて(個人蔵)
- 4.平壤における発掘調査の記録写真
(パネル展示、大韓民国国立中央博物館蔵)
- 5.修徳寺大雄殿の部材の拓本(本館蔵)
- 6.修徳寺大雄殿の修復記録(本館蔵)
- 7.小川敬吉が修理した修徳寺大雄殿(修徳寺提供)

「小川敬吉資料展」展示解説
1月31日(日)・2月21日(日)・3月20日(日)
いずれも15:00～ (参加無料)



期間中のイベント

●なごや歴史講座

「海を渡った縄文文化」

日時/2月21日(日) 13:30～15:00
講師/廣瀬雄一(当館企画普及担当係長)
資料代/100円

「ハンガルの歴史について」

日時/3月20日(日) 13:30～15:00
講師/李敬賢(当館国際交流員)
資料代/100円

●徳川家康陣跡発掘調査現地説明会

2月14日(日) 10:30～12:00
集合場所/唐津市立名護屋小学校
資料代/100円



佐賀県立名護屋城博物館までのアクセス

- 【公共交通機関】
唐津大手口バスセンターもしくはJR西唐津駅から昭和バスで約40分
「名護屋城博物館入口」降車、徒歩5分
- 【自動車】
《福岡方面から》
福岡都市高速・福岡ICから
前原有料道路・二丈浜玉道路を利用し約60分
《佐賀方面から》
長崎自動車道・多久ICから約70分

佐賀県立名護屋城博物館

Saga Prefectural Nagoya Castle Museum
〒847-0401
佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3
TEL:0955-82-4905/FAX:0955-82-5664
URL <http://saga-museum.jp/nagoya/>

名護屋城博物館

検索